

科目名		コミュニティ看護学演習 I	
科目責任者	仲野 宏子	(産業・地域看護学 講師)	
担当者	野元 由美	(広域・発達看護学 講師)	
	丸山 泰子	(広域・発達看護学 講師)	
開講時期:	1年次後学期	単位数:	2 単位
		時間数:	90分× 15 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>地域で生活する乳幼児から高齢者までの人々の健康課題を地域診断をもとに明確化し、理論活用した支援方法を学ぶ。また、先駆的な活動に関する文献をクリティークし、地域看護を基盤とした健康課題を探求し、研究に発展できる。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域を取り巻く健康課題と保健・医療・福祉の動向が説明できる。</li> <li>2) プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの理論と方法論について説明できる。</li> <li>3) 地域診断の基本となるコミュニティアセスメントの理論と方法が説明できる。</li> <li>4) 地域診断に基づくプログラム開発と評価のためのEBN/EBが説明できる。</li> <li>5) 理論に基づく保健活動の実際について説明できる。</li> <li>6) グループ定義とグループ支援の理論と方法論が説明できる。</li> <li>7) コミュニティの組織化に関する理論と方法論が説明できる。</li> <li>8) 保健・医療・福祉システムにおけるコミュニティ活動に関する文献検討ができる。</li> <li>9) 地域看護を基盤とした対象の研究論文を読みクリティークできる。</li> <li>10) 地域看護を基盤とした視点で健康課題を明確化し、研究に発展できる。</li> </ol>			
● 評価方法	レポート 70%、プレゼンテーション 20%、ディスカッション 10%により総合的に評価する。		
● 参考文献	別途指示		

● 授業計画

回	項目	内容	担当教員
1	ガイダンス	授業計画及び内容に関するガイダンス	仲野
2	コミュニティにおける健康課題	地域を取り巻く健康課題と保健・医療・福祉の動向	仲野
3	プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション	プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの理論と方法論	仲野
4	地域診断	コミュニティアセスメントの理論と方法	仲野
5	地域診断に基づくプログラム開発	地域診断に基づくプログラム開発と評価のためのEBN/EB	仲野
6	理論に基づく保健活動の実際	理論に基づく保健活動の実際	仲野
7	グループ・集団のケア理論と方法論	グループ定義とグループ支援の理論と方法論	仲野
8	コミュニティの組織化に関する理論と方法論	コミュニティオーガニゼーション、コミュニティエンパワーメント、コミュニティキャパシティ	仲野
9	コミュニティ活動に関する文献検討方法①	保健・医療・福祉システムにおけるコミュニティ活動に関する文献検討方法①	仲野
10	コミュニティ活動に関する文献検討方法②	保健・医療・福祉システムにおけるコミュニティ活動に関する文献検討方法②	野元
11	先駆的な活動事例①	地域看護実践(母子事例)	仲野
12	先駆的な活動事例②	地域看護実践(がん事例)	野元
13	先駆的な活動事例③	地域看護実践(精神事例)	仲野
14	先駆的な活動事例④	地域看護実践(高齢者事例)	丸山
15	コミュニティ看護実践研究の開発	地域看護実践における研究方法の検討と開発	仲野